

グローバルAIファンド（予想分配金提示型）

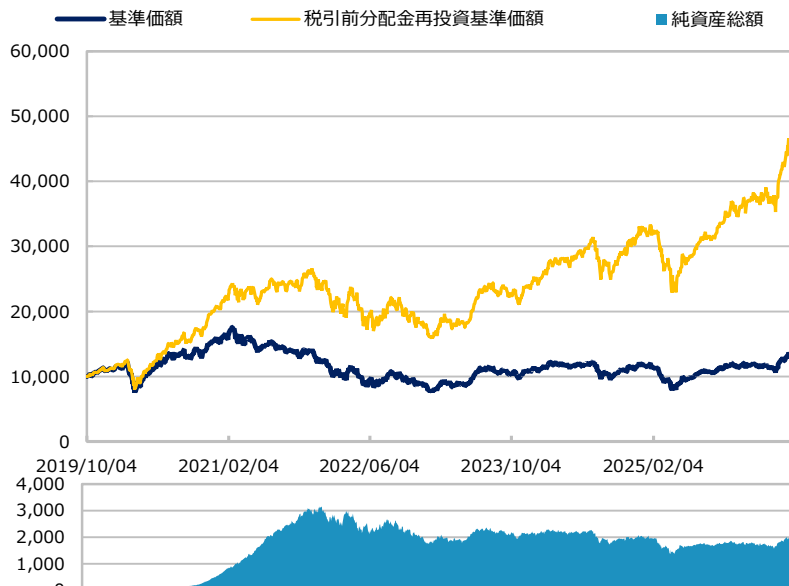
追加型投信／内外／株式

作成基準日：2026年05月29日

ファンド設定日：2019年10月07日

日経新聞掲載名：グローバルAI分

基準価額・純資産総額の推移（円・億円）



- グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
- 基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。

基準価額・純資産総額

	当月末	前月比
基準価額（円）	13,295	+896
純資産総額（百万円）	199,864	+17,594

■ 基準価額は10,000口当たりの金額です。

騰落率（税引前分配金再投資）（%）

	基準日	ファンド
1 カ月	2026/04/30	10.5
3 カ月	2026/02/27	22.1
6 カ月	2025/11/28	29.3
1 年	2025/05/30	67.1
3 年	2023/05/31	118.9
設定来	2019/10/07	366.7

- ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。
- ファンド購入時には購入時手数料、換金時には税金等の費用がかかる場合があります。
- 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

最近の分配実績（税引前）（円）

期	決算日	分配金
第75期	2026/01/26	200
第76期	2026/02/25	200
第77期	2026/03/25	200
第78期	2026/04/27	300
第79期	2026/05/25	400
設定来累計		16,150

※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

資産構成比率（%）

	当月末	前月比
組入マザーファンド	95.1	+2.0
現金等	4.9	-2.0
合計	100.0	0.0

※ 組入マザーファンドの正式名称は「グローバルAIエクイティ・マザーファンド」です。

基準価額の変動要因（円）

	計	インカム	キャピタル
株式等	+1,369	+4	+1,364
先物等	0	0	0
為替	-53	-	-
分配金	-400	-	-
その他	-20	-	-
合計	+896	+4	+1,364

※ 基準価額の月間変動額を主な要因に分解したもので概算値です。

※ この資料の各グラフ・表に記載されている数値は、表示桁未満がある場合は四捨五入して表示しています。

※ この資料に記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全てファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



グローバルA I ファンド（為替ヘッジあり予想分配金提示型）

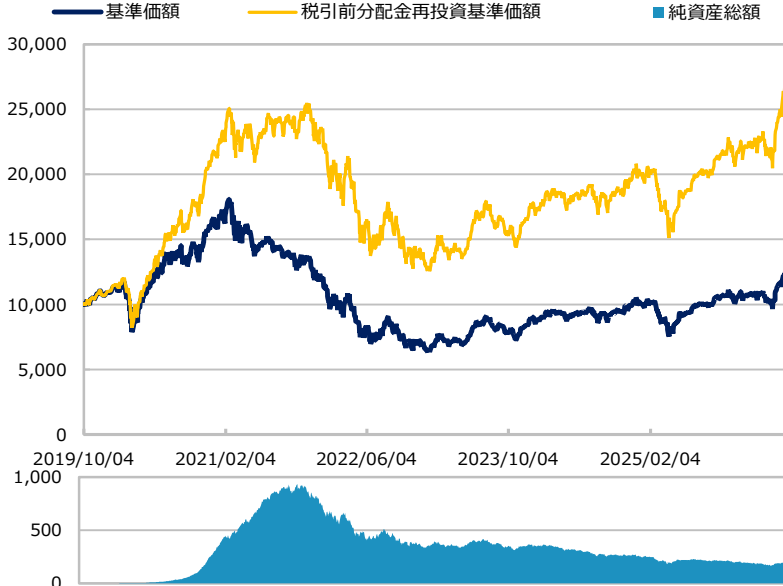
追加型投信／内外／株式

作成基準日：2026年05月29日

ファンド設定日：2019年10月07日

日経新聞掲載名：グロA I 有分

基準価額・純資産総額の推移（円・億円）



- グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
- 基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。

基準価額・純資産総額

	当月末	前月比
基準価額（円）	12,266	+928
純資産総額（百万円）	18,828	+600

■ 基準価額は10,000口当たりの金額です。

騰落率（税引前分配金再投資）（%）

	基準日	ファンド
1 カ月	2026/04/30	10.9
3 カ月	2026/02/27	18.8
6 カ月	2025/11/28	25.2
1 年	2025/05/30	46.5
3 年	2023/05/31	71.5
設定来	2019/10/07	171.0

- ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。
- ファンド購入時には購入時手数料、換金時には税金等の費用がかかる場合があります。
- 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

最近の分配実績（税引前）（円）

期	決算日	分配金
第75期	2026/01/26	100
第76期	2026/02/25	100
第77期	2026/03/25	50
第78期	2026/04/27	200
第79期	2026/05/25	300
設定来累計		10,800

※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

資産構成比率（%）

	当月末	前月比
組入マザーファンド	96.7	+4.1
現金等	3.3	-4.1
合計	100.0	0.0

為替ヘッジ比率 99.3 -4.2

- ※ 組入マザーファンドの正式名称は「グローバルA I エクイティ・マザーファンド」です。
- ※ 為替ヘッジ比率は為替予約の邦貨換算を外貨建資産の邦貨換算額で除して算出しています。

基準価額の変動要因（円）

	計	インカム	キャピタル
株式等	+1,264	+4	+1,260
先物等	0	0	0
為替	-18	-	-
分配金	-300	-	-
その他	-18	-	-
合計	+928	+4	+1,260

※ 基準価額の月間変動額を主な要因に分解したもので概算値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



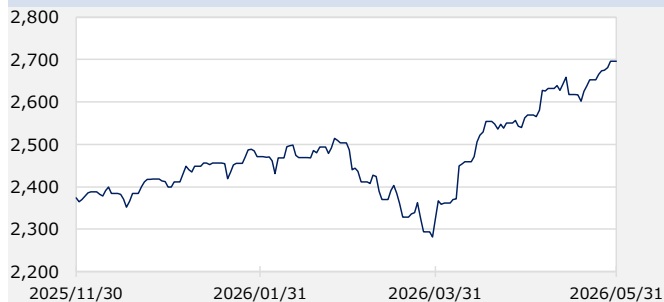
グローバルAIファンド (予想分配金提示型) / (為替ヘッジあり予想分配金提示型)

追加型投信 / 内外 / 株式

作成基準日：2026年05月29日

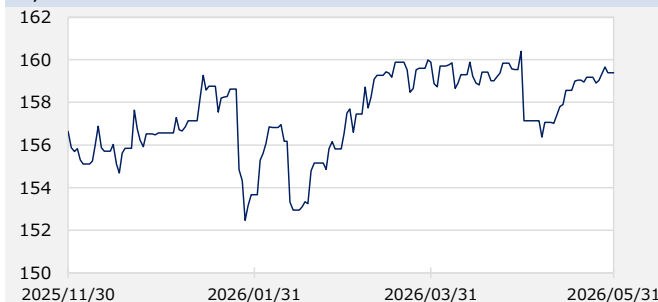
市場動向

MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス (アメリカドル建て)



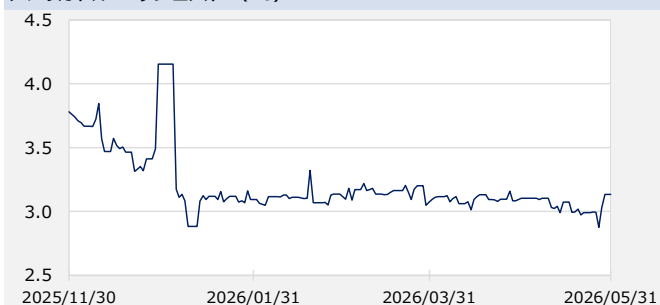
当月騰落率：5.2%

円/アメリカドル (円)



当月末：159.4 前月末：160.4 騰落率：-0.6%

アメリカドル ヘッジコスト (%)



当月末：3.13% 前月末：3.10% 変化幅：0.04%

- ※ Bloomberg等のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成。
- ※ 為替レートは一般社団法人資産運用業協会が発表する仲値 (TTM) です。
- ※ ヘッジコストは該通貨の対円のスポットレートと1ヵ月物フォワードレートをを用いて算出し年率換算した値です。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



グローバルAIファンド (予想分配金提示型) / (為替ヘッジあり予想分配金提示型)

追加型投信 / 内外 / 株式

作成基準日：2026年05月29日

※ このページは「グローバルAIエクイティマザーファンド」の情報を記載しています。

規模別構成比率 (%)

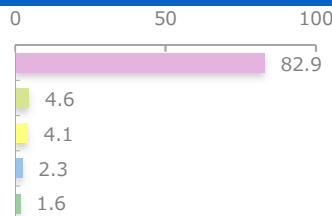
	当月末	前月比
大型株式	75.7	-1.6
中型株式	19.9	+1.5
小型株式	1.4	+0.7
その他	0.0	+0.0

※ MSCI AC World のLarge Cap、Mid Cap、Small Cap インデックスに基づく分類です。

※ その他はいずれのインデックスにも含まれない銘柄です。

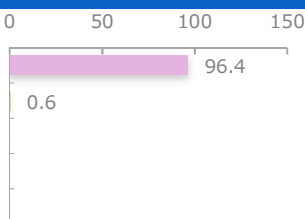
組入上位5カ国・地域 (%)

	当月末	前月比
1 アメリカ	82.9	+1.0
2 台湾	4.6	-0.2
3 オランダ	4.1	+0.1
4 カナダ	2.3	-0.5
5 フィンランド	1.6	+0.4



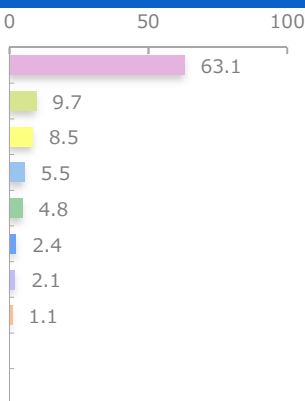
組入上位5通貨 (%)

	当月末	前月比
1 アメリカドル	96.4	+0.8
2 香港ドル	0.6	-0.1



組入上位10業種 (%)

	当月末	前月比
1 情報技術	63.1	+3.1
2 資本財・サービス	9.7	-1.9
3 ヘルスケア	8.5	+0.5
4 一般消費財・サービス	5.5	+0.1
5 金融	4.8	+0.1
6 コミュニケーション・サービス	2.4	-0.9
7 エネルギー	2.1	-0.3
8 生活必需品	1.1	-0.1



※ 業種はGICS (世界産業分類基準) による分類です。

※ このページに記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全て組入マザーファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



グローバルAIファンド (予想分配金提示型) / (為替ヘッジあり予想分配金提示型)

追加型投信 / 内外 / 株式

作成基準日：2026年05月29日

※ このページは「グローバルAIエクイティ・マザーファンド」について、ウォヤ・インベストメント・マネジмент・カンパニー・エルエルシーから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

組入上位10銘柄 (%)

(組入銘柄数 49)

銘柄	国・地域/業種	比率	コメント
1	エヌビディア アメリカ 情報技術	7.0	GPU（画像処理装置）世界最大手で設計・開発・販売を手掛ける。同社は、売上高および1株当たり利益（EPS）が市場予想を上回る四半期決算に加えて、AIインフラ向けに光ファイバー等を提供するコーニングと提携したと発表。
2	ブロードコム アメリカ 情報技術	6.1	ネットワーク用半導体製品を提供する大手企業。同社は、フルオサAIの第3世代AI推論アクセラレーターを開発するため、フルオサAIと戦略的パートナーシップを締結したことや、新たなホームゲートウェイSoCを発表。
3	フレックス アメリカ 情報技術	4.8	電子機器の設計・製造・サプライチェーンソリューションを提供し、データセンターや通信、医療機器など幅広い分野でグローバルに事業を展開。同社は、良好な四半期決算に加えて、データセンター向け機器の生産能力拡大計画を発表。
4	TSMC(台湾セミコンダクター) 台湾 情報技術	4.6	半導体の設計を自前で行わず、受託製造に特化する「ファウンドリ」と呼ばれる業態のパイオニアであり、世界トップシェアを誇る。堅調な需要から同社の4月売上高は前年同月比17.5%増となり、4月として過去最高を更新したと発表。
5	キャタピラー アメリカ 資本財・サービス	4.3	重機メーカー。建設、鉱業、農業、林業向け機械の設計・製造・販売や同機械用エンジンおよび部品も製造。売上高およびEPSが市場予想を上回る四半期決算に加え、AIデータセンター等の建設が同社に対する需要を高めていると発表。
6	ラムリサーチ アメリカ 情報技術	4.2	半導体ウエハー関連の製造装置やサービスを提供。同社は半導体製造装置に追加のセンサーを搭載し、そのデータをAIモデルに取り込むことで、生産プロセスのより早い段階で装置の不具合や非効率を検出できるようにする計画を発表。
7	マイクロン・テクノロジー アメリカ 情報技術	4.1	先進的な半導体ソリューションを提供する世界的大手企業。データ・ストレージ等に利用するDRAMやNANDフラッシュメモリを生産。同社CEOは、AIの普及はまだ初期段階であり、今後もメモリ需要の拡大が期待されると発表。
8	シエナ アメリカ 情報技術	3.4	通信網事業者などに向けて、各種機器・ソフトウェアやサービスを提供。同社は、シリオン・テクノロジーと提携し、ラテンアメリカ向けにNetwork-as-a-Service（NaaS）プラットフォームを立ち上げたと発表。
9	イーライリリー アメリカ ヘルスケア	3.3	世界各地で事業を展開する医薬品メーカー。同社は良好な四半期決算に加え、3社のワクチン開発企業を買収する契約を締結したと発表。また、薬剤給付管理大手のCVSヘルスが同社のGLP-1経口薬を保険適用薬リストに追加すると発表。
10	コヒレント アメリカ 情報技術	3.2	フォトニクス技術のグローバル・リーダーであり、各種産業に光電子デバイス等を提供。同社は良好な四半期決算を発表。また、エヌビディアが同社株式の4%を保有していることが開示され、両社の強固な結びつきが強調された。

※ このページに記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全て組入マザーファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

※ 組入銘柄の紹介を目的としており、記載銘柄の推奨を行うものではありません。また、記載内容は作成時点のものであり、将来予告無く変更されることがあります。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



グローバルAIファンド (予想分配金提示型) / (為替ヘッジあり予想分配金提示型)

追加型投信／内外／株式

作成基準日：2026年05月29日

※ このページは「グローバルAIエクイティ・マザーファンド」について、ウォヤ・インベストメント・マネジмент・カンパニー・エルエルシーから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

ファンドマネージャーコメント

<市場動向>

5月の世界株式市場は上昇しました。引き続きAIに対する期待感と、特に米国企業の収益の底堅さの恩恵を受けました。また、米国とイランの協議が合意に近づいているとの報道を受けて原油価格が下落したことも、株式市場のプラス材料となりました。MSCI全世界株指数のセクター別では、情報技術セクターが堅調に推移しました。同セクターは、半導体、ハードウェア、ソフトウェア関連銘柄が堅調なリターンを示すなど、AI関連銘柄の上昇の裾野の広がりの恩恵を受けました。一方、エネルギーおよび公益事業が最も軟調となりました。

5月に発表された各種経済指標は米国経済が引き続き底堅く推移していることを示しました。4月の非農業部門雇用者数は市場予想を上回る11.5万人増と2ヵ月連続の増加となり、米国の失業率は4.3%で横ばいとなりました。一方、2026年1-3月期の米国GDP（国内総生産）成長率は、速報値の前期比年率2.0%から1.6%へ下方修正されました。アトランタ連銀のGDPNowによる第2四半期GDP成長率の推計値は、年率換算で一時4%超へと上昇しました。米国では、ケビン・ウォーシュ氏が上院で承認され、新たなFRB（米連邦準備制度理事会）議長に就任しました。

<運用経過>

5月のマザーファンドの基準価額は上昇しました。

5月、クラウド・コンピューティング・サービスを手掛けるアカマイ・テクノロジーズや、AIを積極的に活用している医薬品の開発・製造を手掛けるイーライリリー等を積み増しました。一方、高金利環境を背景に農業機械の需要が低下していること等から関連機械を提供するディアや、競合他社と比較してAI関連投資に関してやや高いリスクを取っていると評価したことなどからメタ・プラットフォームズを全売却しました。

(寄与度上位銘柄)

初期設計・製造から顧客製品のライフサイクル全体にわたるソリューションを提供する受託製造企業のフレックスが5月の寄与度上位銘柄となりました。良好な四半期決算や、クラウドおよび電力インフラ部門の分社化の発表が好感され、同社株価は上昇しました。同社は先進的な製造ソリューションを提供する主要企業であり、大手クラウド事業者を含む多様な産業のグローバル・サプライチェーン（供給網）を支えています。同社は、高性能AIサーバーラックの製造や、AIデータセンター向け電力ソリューションも手がけており、AIインフラ構築の進展から恩恵を受けると考えています。

半導体メモリー企業であるマイクロン・テクノロジーも5月の寄与度上位銘柄となりました。AIインフラ需要の

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



グローバルAIファンド (予想分配金提示型) / (為替ヘッジあり予想分配金提示型)

追加型投信 / 内外 / 株式

作成基準日：2026年05月29日

※ このページは「グローバルAIエクイティ・マザーファンド」について、ウォヤ・インベストメント・マネジмент・カンパニー・エルエルシーから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

ファンドマネージャーコメント

高まりにより、メモリー需給の逼迫が継続することを示す兆候が増加しています。こうした動きはDRAMおよびNANDフラッシュメモリーの価格上昇を後押しすると見込まれており、同社株価は上昇しました。同社は、メモリー需要が供給を引き続き上回るなど堅調な半導体メモリー市場から恩恵を享受する良好な位置にいると考えています。また、同社はAIインフラに不可欠なHBM分野においても着実に進歩しているとみています。

(寄与度下位銘柄)

エネルギー機器の製造およびサービスを手掛けるGEベルノバが5月の寄与度下位銘柄となりました。業界全体で重負荷ガスタービンの生産能力が拡大した影響で投資家心理が弱まり、同社株式は利益確定の売りが優勢となりました。一方、AIデータセンターの成長加速により2030年までに米国の電力需要が倍増するとも予想されており、同社はその恩恵を享受できると考えています。同社のガスタービンおよび送電網関連機器の受注は急増しており、長期的に力強い成長を期待しています。

AIデータセンターや大手クラウド事業者向けに、サーバー、ストレージ（補助記憶装置）システム等の重要なハードウェアインフラの先進的な電子機器製造サービスを提供するセレスティカも5月の寄与度下位銘柄となりました。AIインフラ関連銘柄以外にも注目が集まる中、過去数四半期良好に推移していた同社株式は利益確定の売りが優勢となりました。同社は大手クラウド事業者によるAIインフラ構築の恩恵を引き続き享受していると考えています。同社の高度なネットワーク機器、サーバーラック、ストレージソリューション等に対する需要は、今後数年にわたるこの投資サイクルから恩恵を受けると期待しています。

<市場見通し及び今後の運用方針>

足もとでは市場のボラティリティ（変動性）が高まっているものの、株式市場に対して中長期的には引き続きポジティブにみています。第1四半期決算は概ね健全であったことが見て取れ、企業業績は引き続き力強いものであると考えています。半導体、メモリー、テクノロジー・ハードウェアなどのAIインフラ関連銘柄は、年初来の相場の主要ドライバーとなっていますが、足もとではやや調整が見られます。我々は、これを、企業のファンダメンタルズ（業績、財務内容などの基礎的諸条件）の変化を示すものではなく、依然としてファンダメンタルズは強固であり健全な一時的調整と捉えています。一方で投資家は、米国イラン間の長引く交渉や予想を上回る米国雇用統計に起因するインフレ懸念など、不透明な金利見通しをますます注視しています。これらの要因は利益確定売りの動きにつながっているものの、最終的には対処可能であり、時間の経過とともに解消される可能性が高いと考えています。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



グローバルAIファンド (予想分配金提示型) / (為替ヘッジあり予想分配金提示型)

追加型投信 / 内外 / 株式

作成基準日：2026年05月29日

※ このページは「グローバルAIエクイティ・マザーファンド」について、ウォヤ・インベストメント・マネジмент・カンパニー・エルエルシーから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

ファンドマネージャーコメント

巨大IPO（新規株式公開）に関する話題が注目されており、ITバブル期と比較されています。しかし、現在の環境は当時とは本質的に異なると考えています。ITバブル期は未成熟な企業に対する過熱した投機と特徴づけられるのに対し、スペースX、オープンAI、アンソロピックといった企業は規模が大きく、強固な競争優位性を有し高い成長性を示すビジネス・モデルを展開しています。さらに巨大IPOによる資金調達額は現在の株式市場の厚みと比較すると巨額というわけではなく、現在の株式市場はこれらの新規発行株式を吸収可能であると思われる。

より多くのセクターで利益成長の改善が見込め、テクノロジーセクターや超大型銘柄への集中相場からバランスの取れた市場環境になると引き続き考えています。企業優遇政策は幅広い企業の業績を下支えすると思われ、主要中央銀行による利下げの再開があれば、追加のプラス材料となるでしょう。当ファンドはこのような業績改善の広がりを捉えるべく、ヘルスケア、資本財、消費財、金融など、AIを導入しAIによる生産性向上の兆しが見られ始める様々な産業に投資しています。

AIのイノベーション・サイクルは維持されており、最終的に堅調なマクロ経済環境が株式市場やAIエコシステムの企業にとって追い風になるとみています。ボラティリティが高まる局面もあると思われるものの、ファンダメンタルズの観点からバリュエーション（投資価値評価）が割安でその回復局面において有利になる銘柄を積極的に発掘していきます。

イノベーションの観点から見ると、力強いインフラ構築を受けて、それを基盤としたAI開発が加速しています。足もとではAIの試験導入から本格的な運用段階へ移行し始めています。また、AIによって強化された高度な機能を有する製品・サービスが、産業全体の生産性、コストカット、収益機会をさらに引き上げるでしょう。AI投資がもたらす変革によって、企業の利益率は拡大すると考えられ、投資を進めている革新的企業の評価を支えているとみています。

AIインフラストラクチャー：世界のAIデータセンターの拡大は、多くの投資家が認識している以上に力強く進んでおり、資本支出に対する懸念は、「不安の壁」を乗り越える過程で今後も続く可能性が高いでしょう。現在のAI産業革命の実現に対する障壁はあるものの、それがむしろ魅力的な収益機会をもたらすとみています。これには高速計算用の半導体、半導体製造装置、電力供給と効率化などの分野が対象となります。

AI開発企業：今後数年のうちに、AIアプリケーションやソフトウェアは、便利なツールから私たちに代わって行動する「パートナー」へと進化していくでしょう。「静的なアプリ」は、状況に応じて行動し、あらゆる状況に

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



グローバルAIファンド (予想分配金提示型) / (為替ヘッジあり予想分配金提示型)

追加型投信 / 内外 / 株式

作成基準日：2026年05月29日

※ このページは「グローバルAIエクイティ・マザーファンド」について、ウォー・インベストメント・マネジмент・カンパニー・エルエルシーから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

ファンドマネージャーコメント

適応できる「協働型自律エージェント」へと移行しつつあります。このインテリジェントなアプリケーションはさらなる自動化を促すことで大幅な効率向上をもたらし、新たな収益化の機会をもたらすとみています。ソフトウェア支出動向は引き続きまちなものであり、この状況が安定するには時間がかかる可能性があります。しかし、最終的には新たなリーダー的企業が台頭すると考えています。

AI活用企業：私たちは産業全体で本格的なAI導入の初期段階にいます。AIを早期に導入してきた革新的な企業は、試験導入から本格的な導入へと移行しており、同業他社と比べて財務面や競争面で効果が表れ始めています。金融サービス、ヘルスケア、資本財、消費関連の分野でAIを先導的に取り入れている企業は、AIによって財務成果が改善し始めるという初期の恩恵を受けつつあると私たちは考えています。こうした状況は市場から過小評価されており、魅力的な収益機会として見ています。

AIによる革命は始まったばかりであり、その進展は世界経済を大きく変革させると考えています。近年、AIの進歩はその潜在力を示しましたが、今後10年で更なるイノベーションによって汎用人工知能（AGI）の実現が近づき、変革の力は勢いを増すでしょう。AIはあらゆる業界で競争環境等を急速に変えています。今後10年、AIによる変革に関連した企業はより多くの収益機会をもたらすとみています。AIを本格的に受け入れることで生産性の大幅な向上、コスト削減、新たな製品・サービスの開発を行ったものが各産業の革新者になるでしょう。特に、ディスラプションが多く見られる環境下においては、徹底した銘柄選択が重要だと考えています。引き続き、AIによって長期的に株主価値を成長させることができる革新的企業の発掘に注力していく方針です。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

グローバルAIファンド (予想分配金提示型) / (為替ヘッジあり予想分配金提示型)

追加型投信 / 内外 / 株式

作成基準日：2026年05月29日

ファンドの特色

※ 各ファンドの略称として、それぞれ以下のようにしております。

グローバルAIファンド（予想分配金提示型）：（為替ヘッジなし予想分配金提示型）

グローバルAIファンド（為替ヘッジあり予想分配金提示型）：（為替ヘッジあり予想分配金提示型）

- グローバルAIエクイティ・マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）への投資を通じて、世界の上場株式*の中から、AI（人工知能）の進化、応用により高い成長が期待される企業の株式に投資を行います。
 - AIテクノロジーの開発のほか、AIの開発に必要なコンピューティング技術、AIを活用したサービス、ソフトウェア・アプリケーションの提供を行う企業や、AIを活用したサービスを駆使して自社ビジネスを成長させる企業等に投資を行います。
 - AI（人工知能）とは、Artificial Intelligenceの略です。人間のように自ら学び発達していくコンピューター・プログラムをさします。

* 上場株式には、不動産投資信託（REIT）も含まれます。
 - AIに関連する企業の投資戦略に強みをもつ、ヴォヤ・インベストメント・マネジメント・カンパニー・エルエルシーが実質的な運用を行います。
 - マザーファンドの運用にあたっては、ヴォヤ・インベストメント・マネジメント・カンパニー・エルエルシーに運用の指図に関する権限の一部を委託します。
 - 対円での為替ヘッジの有無により、（為替ヘッジなし予想分配金提示型）と（為替ヘッジあり予想分配金提示型）の2つのファンドからご選択いただけます。
 - （為替ヘッジなし予想分配金提示型）
実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
 - （為替ヘッジあり予想分配金提示型）
実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを活用し、為替変動リスクの低減を図ります。ただし、完全に為替変動リスクを回避することはできません。

※一部の通貨については、他の通貨を用いた為替ヘッジを行う場合があります。直物為替先渡取引（NDF）を利用することもあります。
- ※販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 毎月の決算時に分配方針に基づき分配を行います。
 - 原則として、毎月25日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、分配方針に基づき分配を行います。
 - 各計算期末の前営業日の基準価額（支払済み分配金（1万口当たり、税引前）累計額は加算しません。）に応じて、原則として、以下の金額の分配を目指します。

各計算期末の前営業日の基準価額	分配金額（1万口当たり、税引前）
11,000円未満	基準価額の水準等を勘案して決定
11,000円以上12,000円未満	200円
12,000円以上13,000円未満	300円
13,000円以上14,000円未満	400円
14,000円以上	500円

※分配対象額が少額な場合、各計算期末の前営業日から当該計算期末までに基準価額が急激に変動した場合等には、上記の分配を行わないことがあります。

<ご留意いただきたい事項>

- 基準価額に応じて、毎月の分配金額は変動します。
- 基準価額があらかじめ決められた水準に一度でも到達すれば、その水準に応じた分配を継続するというものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



グローバルAIファンド (予想分配金提示型) / (為替ヘッジあり予想分配金提示型)

追加型投信 / 内外 / 株式

作成基準日：2026年05月29日

ファンドの特色

- 分配を行うことにより基準価額は下落します。このため、基準価額に影響を与え、次期決算以降の分配金額は変動する場合があります。
- あらかじめ一定の分配金額を保証するものではありません。

※ 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

投資リスク

基準価額の変動要因

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- 運用の結果として信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。
- 投資信託は預貯金と異なります。また、一定の投資成果を保証するものではありません。
- 当ファンドの主要なリスクは以下の通りです。

■ 株式市場リスク

【株価の下落は、基準価額の下落要因です】

内外の経済動向や株式市場での需給動向等の影響により株式相場が下落した場合、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、個々の株式の価格はその発行企業の事業活動や財務状況等によって変動し、株価が下落した場合はファンドの基準価額が下落する要因となります。

■ 信用リスク

【債務不履行の発生等は、基準価額の下落要因です】

ファンドが投資している有価証券や金融商品において債務不履行が発生あるいは懸念される場合、またはその発行体が経営不安や倒産等に陥った場合には、当該有価証券や金融商品の価格が下がったり、投資資金を回収できなくなったりすることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

■ 為替変動リスク

(為替ヘッジなし予想分配金提示型)

【円高は基準価額の下落要因です】

外貨建資産への投資は為替変動の影響を受けます。ファンドが保有する外貨建資産の価格が現地通貨ベースで上昇する場合であっても、当該現地通貨が対円で下落する(円高となる)場合、円ベースでの評価額が下落し、基準価額が下落することがあります。

(為替ヘッジあり予想分配金提示型)

【為替ヘッジにより、円高が基準価額に与える影響は限定的です】

外貨建資産への投資は為替変動の影響を受けますが、原則として対円で為替ヘッジを行うため、その影響は限定的と考えられます。ただし、完全に為替変動リスクを回避することはできません。なお、円金利がヘッジ対象通貨の金利よりも低い場合、その金利差相当分のヘッジコストがかかることにご留意ください。また、需給要因等によっては金利差相当分以上にヘッジコストがかかる場合があります。

■ カントリーリスク

【投資国の政治・経済等の不安定化は、基準価額の下落要因です】

海外に投資を行う場合には、投資先の国の政治・経済・社会状況の不安定化、取引規制や税制の変更等によって投資した資金の回収が困難になることや、その影響により投資する有価証券等の価格が大きく変動することがあり、基準価額が下落する要因となります。

■ 流動性リスク

【市場規模の縮小・取引量の低下により、不利な条件での取引を余儀なくされることは、基準価額の下落要因です】

有価証券等を大量に売買しなければならない場合、あるいは市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等に、十分な数量の売買ができなかったり、通常よりも不利な価格での取引を余儀なくされることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

グローバルAIファンド (予想分配金提示型) / (為替ヘッジあり予想分配金提示型)

追加型投信 / 内外 / 株式

作成基準日：2026年05月29日

投資リスク

その他の留意点

- ファンドは、特定の業種・テーマに絞った銘柄選定を行いますので、株式市場全体の動きとファンドの基準価額の動きが大きく異なることがあります。また、市場環境、金利および経済・法制度・金融面の諸情勢が、特定の業種・テーマに対して著しい影響を及ぼすことがあります。当該業種・テーマに属する銘柄は、これらの情勢等に対して同様の反応を示すことがあります。
- (為替ヘッジあり予想分配金提示型) 為替取引を行う場合、直物為替先渡取引 (NDF) を利用する場合があります。NDFの取引価格は、需給や当該通貨に対する期待等の影響により、金利差から理論上期待される水準とは大きく異なる場合があります。したがって、実際の為替市場や金利市場の動向から想定される動きとファンドの基準価額の動きが大きく異なる場合があります。また、当該取引において、取引先リスク (取引の相手方の倒産等により取引が実行されないこと) が生じる可能性があります。
- (為替ヘッジあり予想分配金提示型) ファンドが活用する店頭デリバティブ取引 (NDF) を行うために担保または証拠金として現金等の差入れがさらに必要となる場合があります。その場合、ファンドは追加的に現金等を保有するため、ファンドが実質的な投資対象とする資産等の組入比率が低下することがあります。その結果として、高位に組み入れた場合に比べて期待される投資効果が得られず、運用成果が劣後する可能性があります。
- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性、換金申込みの受け付けが中止となる可能性、既に受け付けた換金申込みが取り消しとなる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性等があります。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



グローバルAIファンド (予想分配金提示型) / (為替ヘッジあり予想分配金提示型)

追加型投信 / 内外 / 株式

作成基準日：2026年05月29日

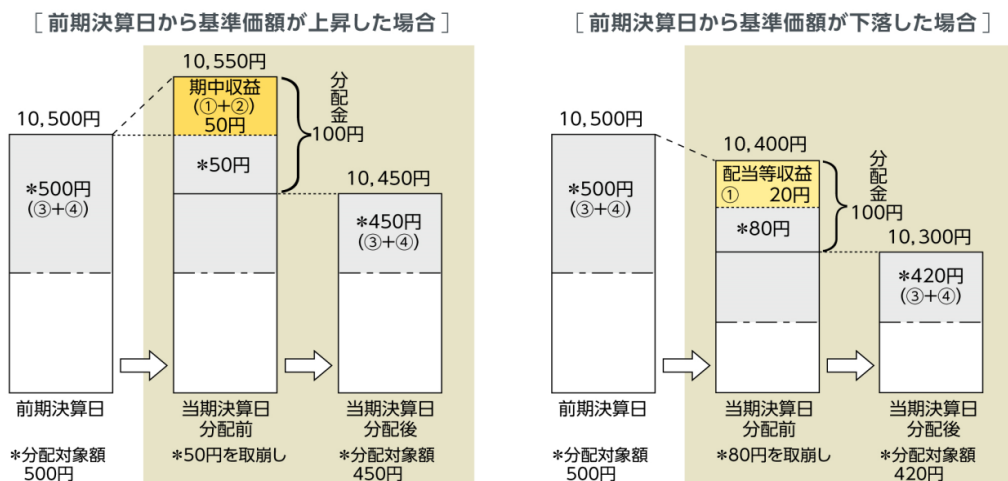
分配金に関する留意事項

■ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。



■ 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

(計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合)

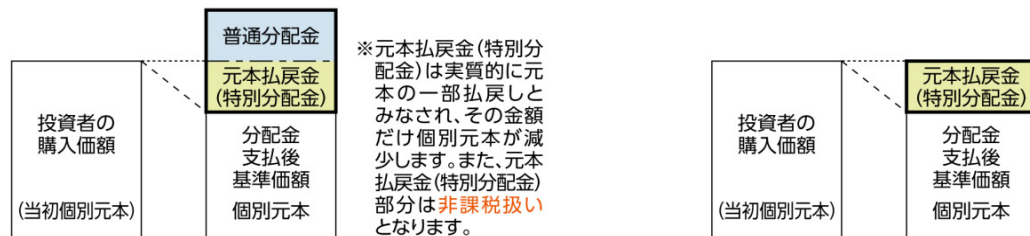


(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※ 上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

■ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

[分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合] [分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合]



普通分配金：個別元本（投資者のファンド購入価額）を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金（特別分配金）：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用

グローバルAIファンド (予想分配金提示型) / (為替ヘッジあり予想分配金提示型)

追加型投信／内外／株式

作成基準日：2026年05月29日

お申込みメモ

購入単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

購入価額

購入申込受付日の翌営業日の基準価額

購入代金

販売会社の定める期日までにお支払いください。

換金単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

換金価額

換金申込受付日の翌営業日の基準価額

換金代金

原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。

信託期間

2036年9月25日まで（2019年10月7日設定）

決算日

毎月25日（休業日の場合は翌営業日）

収益分配

決算日に、分配方針に基づき分配を行います。委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

分配金受取りコース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、決算日から起算して5営業日目までにお支払いいたします。

分配金自動再投資コース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、無手数料で再投資いたします。

※販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。

課税関係

- 課税上は株式投資信託として取り扱われます。
- 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に限りNISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。
- 当ファンドは、NISAの対象ではありません。
- 配当控除および益金不算入制度の適用はありません。

お申込不可日

以下のいずれかに当たる場合には、購入・換金のお申込みを受け付けません。

- ニューヨークの取引所の休業日
- ニューヨークの銀行の休業日

スイッチング

販売会社によっては、以下のファンドの間でスイッチングを取り扱う場合があります。

- グローバルAIファンド
- グローバルAIファンド（為替ヘッジあり）
- グローバルAIファンド（予想分配金提示型）
- グローバルAIファンド（為替ヘッジあり予想分配金提示型）

※グローバルAIファンドおよびグローバルAIファンド（為替ヘッジあり）については、当該ファンドの投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。また、販売会社によっては一部のファンドのみの取扱いとなる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

グローバルAIファンド (予想分配金提示型) / (為替ヘッジあり予想分配金提示型)

追加型投信 / 内外 / 株式

作成基準日：2026年05月29日

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

- 購入時手数料
購入価額に**3.30% (税抜き3.00%) を上限**として、販売会社毎に定める手数料率を乗じた額です。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 信託財産留保額
ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

- 運用管理費用 (信託報酬)
ファンドの純資産総額に**年1.925% (税抜き1.75%)**の率を乗じた額です。
- その他の費用・手数料
以下のその他の費用・手数料について信託財産からご負担いただきます。
 - 監査法人等に支払われるファンドの監査費用
 - 有価証券の売買時に発生する売買委託手数料
 - 資産を外国で保管する場合の費用 等※上記の費用等については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※ 上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

税金

分配時

所得税及び地方税 配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%

換金 (解約) 及び償還時

所得税及び地方税 譲渡所得として課税 換金 (解約) 時及び償還時の差益 (譲渡益) に対して20.315%

- ※ 個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。法人の場合は上記とは異なります。
- ※ 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。
- ※ 税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

委託会社・その他の関係法人等

委託会社	ファンドの運用の指図等を行います。 三井住友DSアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第399号 加入協会 : 一般社団法人資産運用業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会 ホームページ : https://www.smd-am.co.jp コールセンター : 0120-88-2976 [受付時間] 午前9時~午後5時 (土、日、祝・休日を除く)
受託会社	ファンドの財産の保管および管理等を行います。 株式会社りそな銀行
販売会社	ファンドの募集の取扱い及び解約お申込の受付等を行います。
投資顧問会社	マザーファンドの運用指図に関する権限の一部の委託を受け、投資信託財産の運用を行います。 ウオヤ・インベストメント・マネジメント・カンパニー・エルエルシー

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



グローバルAIファンド (予想分配金提示型) / (為替ヘッジあり予想分配金提示型)

追加型投信 / 内外 / 株式

作成基準日：2026年05月29日

販売会社

販売会社名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	資産運用業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	日本S T O協会	一般社団法人	備考
アイザワ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第3283号	○	○	○				
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第67号	○		○				
今村証券株式会社	金融商品取引業者 北陸財務局長 (金商) 第3号	○		○				
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長 (金商) 第15号	○		○	○			
S M B C日興証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第2251号	○	○	○	○	○		
株式会社S B I証券	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第44号	○	○	○	○	○		
岡三証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第53号	○	○	○	○			※1
香川証券株式会社	金融商品取引業者 四国財務局長 (金商) 第3号	○						
静銀ティーエム証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長 (金商) 第10号	○						
スターツ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第99号	○		○				
大熊本証券株式会社	金融商品取引業者 九州財務局長 (金商) 第1号	○						
大和証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第108号	○	○	○	○	○		
中銀証券株式会社	金融商品取引業者 中国財務局長 (金商) 第6号	○	○					
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長 (金商) 第140号	○	○	○	○	○		
東洋証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第121号	○	○					
とちぎんT T証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第32号	○						※2
内藤証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長 (金商) 第24号	○	○					
南都まほろば証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長 (金商) 第25号	○						※2
西日本シティT T証券株式会社	金融商品取引業者 福岡財務支局長 (金商) 第75号	○						
八十二証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第21号	○		○				
P W M日本証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第50号	○	○					
百五証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長 (金商) 第134号	○						
ひろぎん証券株式会社	金融商品取引業者 中国財務局長 (金商) 第20号	○						
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第164号	○			○			
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第165号	○	○	○	○	○		
三菱U F J eスマート証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第61号	○	○	○	○	○		
水戸証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第181号	○		○				
むさし証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第105号	○	○					
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第195号	○	○	○	○	○		
ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者 中国財務局長 (金商) 第8号	○						
株式会社あいち銀行	登録金融機関 東海財務局長 (登金) 第12号	○			○			※3
株式会社イオン銀行 (仲介)	登録金融機関 関東財務局長 (登金) 第633号	○						※4

備考欄について

※1：ネット専用※2：「グローバルAIファンド（予想分配金提示型）」のみのお取扱いとなります。※3：新規の募集はお取り扱いしていません。※4：委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■設定・運用



グローバルA Iファンド (予想分配金提示型) / (為替ヘッジあり予想分配金提示型)

追加型投信 / 内外 / 株式

作成基準日：2026年05月29日

販売会社

販売会社名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融商品取引業協会	一般社団法人 資産運用業協会	金融先物取引業協会	一般社団法人 日本S T O協会	備考
株式会社SBI新生銀行 (SBI証券仲介)	登録金融機関 関東財務局長 (登金) 第10号	○			○		※1 ※5
株式会社SBI新生銀行 (マネックス証券仲介)	登録金融機関 関東財務局長 (登金) 第10号	○			○		※1 ※4
株式会社北九州銀行	登録金融機関 福岡財務支局長 (登金) 第117号	○			○		
株式会社三十三銀行	登録金融機関 東海財務局長 (登金) 第16号	○					※2
株式会社十六銀行	登録金融機関 東海財務局長 (登金) 第7号	○			○		※2
株式会社筑邦銀行	登録金融機関 福岡財務支局長 (登金) 第5号	○					※2
株式会社中国銀行	登録金融機関 中国財務局長 (登金) 第2号	○			○		
株式会社筑波銀行	登録金融機関 関東財務局長 (登金) 第44号	○					
株式会社東京スター銀行	登録金融機関 関東財務局長 (登金) 第579号	○			○		
株式会社富山銀行	登録金融機関 北陸財務局長 (登金) 第1号	○					
株式会社名古屋銀行	登録金融機関 東海財務局長 (登金) 第19号	○					※2
株式会社南都銀行	登録金融機関 近畿財務局長 (登金) 第15号	○					
株式会社八十二長野銀行 (仲介)	登録金融機関 関東財務局長 (登金) 第49号	○			○		※6
株式会社百五銀行	登録金融機関 東海財務局長 (登金) 第10号	○			○		
PayPay銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長 (登金) 第624号	○			○		
株式会社三井住友銀行	登録金融機関 関東財務局長 (登金) 第54号	○	○		○		
株式会社もみじ銀行	登録金融機関 中国財務局長 (登金) 第12号	○			○		
株式会社山形銀行	登録金融機関 東北財務局長 (登金) 第12号	○					※2
株式会社山口銀行	登録金融機関 中国財務局長 (登金) 第6号	○			○		

備考欄について

- ※1：ネット専用 ※2：「グローバルA Iファンド (予想分配金提示型)」のみのお取扱いとなります。 ※4：委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社
- ※5：委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券 ※6：委託金融商品取引業者 八十二証券株式会社

グローバルAIファンド (予想分配金提示型) / (為替ヘッジあり予想分配金提示型)

追加型投信 / 内外 / 株式

作成基準日：2026年05月29日

当資料のご利用にあたっての注意事項

- 当資料は、三井住友DSアセットマネジメントが作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、将来に關し述べられた運用方針・市場見通しも変更されることがあります。当資料は三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 投資信託は、値動きのある証券（外国証券には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。
- 投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 当ファンドの取得のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）および契約締結前交付書面等の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等は販売会社にご請求ください。また、当資料に投資信託説明書（交付目論見書）と異なる内容が存在した場合は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）が優先します。

■ 設定・運用

